

### シカフィット AMY-G7

製品コード	製品名	内容	容量	貯蔵方法	有効期間
78037 78038	シカフィット AMY-G7 (7170)	試薬1 試薬2	60mL × 4 20mL × 4	2~8℃	2年
78040 78041	シカフィット AMY-G7 (EPS)	試薬1 試薬2	70mL × 4 70mL × 2		
78042 78043	シカフィット AMY-G7 (EPS200) シカフィット AMY-G7 (EPS150)	試薬1 試薬2	200mL × 3 150mL × 2		
78044 78045	シカフィット AMY-G7 (MR)	試薬1 試薬2	90mL × 3 28mL × 3		
78048 78049	シカフィット AMY-G7 (SPS)	試薬1 試薬2	20mL × 3 10mL × 3		
78039	シカフィット AMY-G7 (008)	試薬1 試薬2	60mL × 3 16.8mL × 3		

### シカフィット p-AMY-G7

製品コード	製品名	内容	容量	貯蔵方法	有効期間
78234 78235	シカフィット p-AMY-G7 (SPS)	試薬1 試薬2	20mL × 3 10mL × 3	2~8℃	1年6ヶ月
78238	シカフィット p-AMY-G7 (008)	試薬1 試薬2	21mL × 1 5mL × 1		
78236	シカフィット p-AMY-G7 (7170)	試薬1	60mL × 2		
78239	シカフィット p-AMY-G7 (EPS-S)	試薬1	70mL × 1		

※本品の第2試薬として〈シカフィット AMY-G7 試薬2〉を共用できます。

### 関連製品

製品コード	製品名	カテゴリ	容量	貯蔵方法	有効期間
77939	トレースキャリブ PLUS	キャリブレータ	1mL × 3	-20℃以下	1年6ヶ月
78201	キャリブセラ 24		1mL × 3	-30℃以下	1年
77940	トレースチェック PLUS	コントロール	2mL × 3 × 2 濃度	-20℃以下	1年6ヶ月
78200	L-クオリトロール		3mL × 3 × 2 濃度	-20℃以下	1年

# シカフィット AMY-G7 シカフィット p-AMY-G7



体外診断用医薬品



## シカフィット AMY-G7      シカフィット p-AMY-G7

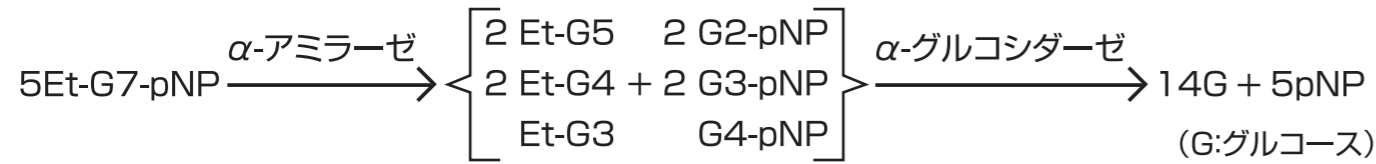
- JSCC勧告法と同じ「Et-G7-pNP」を基質として用いています。
- 検体種別(血清、尿)に関わらずJCCLS-SOPとの反応性は一致しています。

**Cica 関東化学株式会社**  
試薬事業本部

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2丁目2番1号  
TEL: 03-6214-1091  
HP: <https://www.kanto.co.jp>

# シカフィット AMY-G7

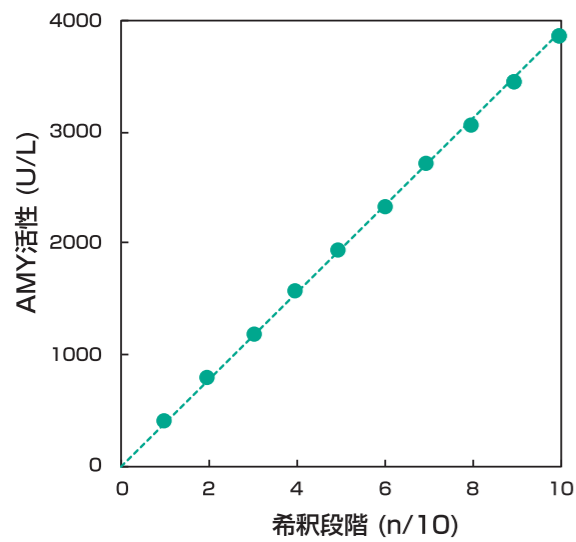
## 原理



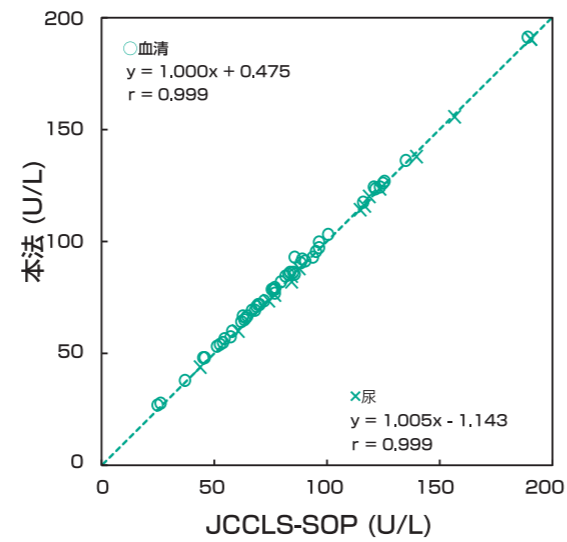
$\alpha$ -アミラーゼ(AMY)の作用で4,6-エチリデン-4-ニトロフェニルマルトヘプタオシド(Et-G7-pNP)をEt-G5、Et-G4、Et-G3とG2-pNP、G3-pNP、G4-pNPに加水分解します。さらに $\alpha$ -グルコシダーゼが作用するとG2-pNP、G3-pNP、G4-pNPからpNPが遊離します。

このpNPの増加速度を分光学的に測定することにより、検体中のAMY活性を求めます。

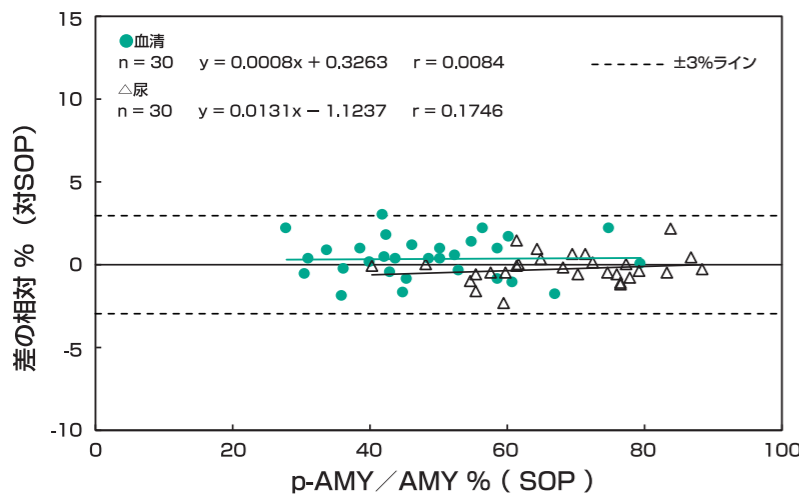
## 直線性



## JCCLS-SOPとの相関



## 各アイソザイム比における正確性



検体種別(血清、尿)やアイソザイム比率によらず、SOPとの測定値の差は±3%以内です。

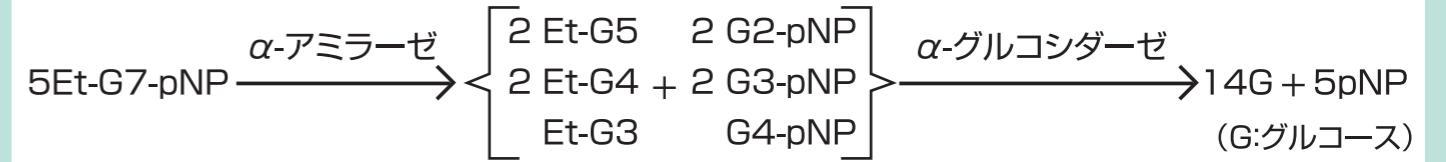
## 同時再現性

Sample	血清1	血清2
N	30	30
Mean	121.0	630.4
Max	122	638
Min	120	626
Range	2	12
SD	0.72	2.65
CV%	0.59	0.42

# シカフィット p-AMY-G7

## 原理

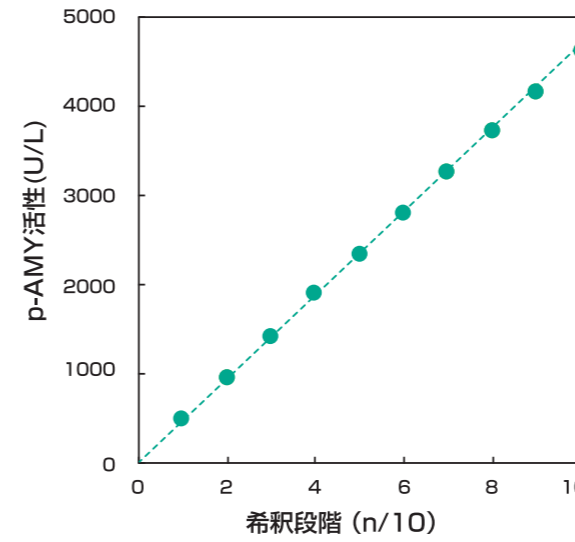
抗ヒトS型アミラーゼ阻害抗体



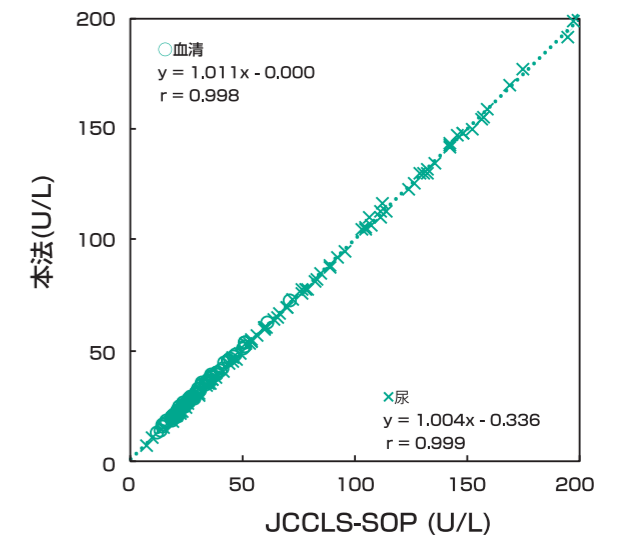
抗ヒトS型アミラーゼ阻害抗体で阻害されなかったP型アミラーゼ(p-AMY)の作用で4,6-エチリデン-4-ニトロフェニルマルトヘプタオシド(Et-G7pNP)をEt-G5、Et-G4、Et-G3とG2-pNP、G3-pNP、G4-pNPに加水分解します。さらに $\alpha$ -グルコシダーゼが作用するとG2-pNP、G3-pNP、G4-pNPからpNPが遊離します。

このpNPの増加速度を分光学的に測定することにより、検体中のp-AMY活性を求めます。

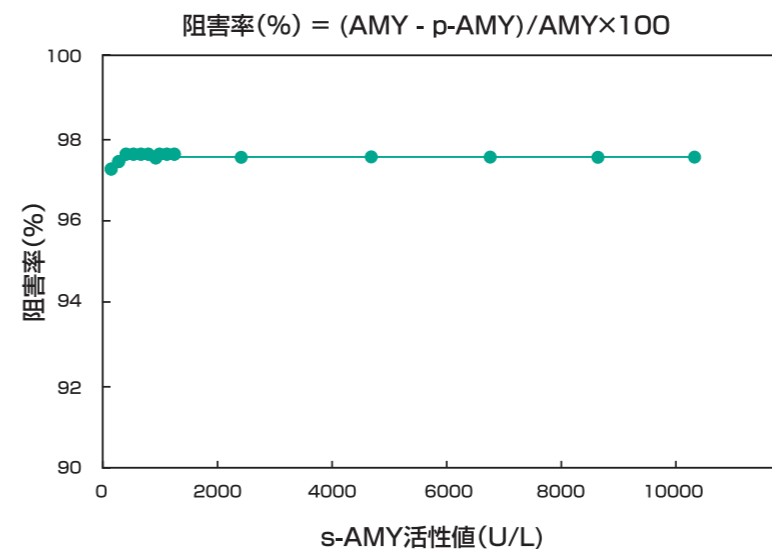
## 直線性



## JCCLS-SOPとの相関



## 阻害能



## 同時再現性

Sample	血清1	血清2
N	20	20
Mean	53.3	280.1
Max	54	283
Min	52	278
Range	2	5
SD	0.54	1.40
CV%	1.01	0.50